

Solan Primary School
4th grade news letter

Venture Fourth

2023 Jun. 5

喜び → 驚き → 感動

またまた Venture fourth に素敵なお便りが。
お家の方から届く声が、教室での喜びや学びを加速させてくれています。
子どもたちやクラスの成長を共に喜んでくれる方々の存在が、本当に心強いですし、我々担任団にも安心感を与えてくれています。

渡辺先生、先日は参観させていただきありがとうございます！

百人一首大会は見ている私もドキドキしました！緊迫感、礼儀正しさ、悔しさ、喜び。色々なドラマが見れました★

メダルを渡す際、表彰式に流れる音楽をかけていて本格的な演出が本当に素敵だなあと感動しました。

泣いてしまった子供にうまく声掛けができなかった私ですが、お友達の励ましの言葉や先生にも素敵な涙だよと褒めて頂いて、子供の心も温まった事でしょう。

見えていない所で皆よく頑張っていたのですね！

しょうたくんのお別れ会でバイオリンの演奏があった時、廊下を通りすぎた違う学年の子供達も足がとまり、そして四年生のクラスの誰も一言も話さず静かに、色々な気持ちをめぐらせながら様々な表情で聴き入っていたのを見て涙が出ました。

2ヶ月間の先生方の子供達への丁寧な向き合い方でクラス全体がひとつになっていて、これからももっと楽しみです！

ペンネーム「ネイビー」さんより

ネイビーさん、素敵なお便りをありがとうございます。

「クラスの状態」の変化や成長について、最近お便りや感想を寄せて下さる方々が増えてきました。

今まで子どもたちの様子を定点観測で見守ってきたからこそ、その変化が手に取るように分かるのでしょうか。

ネイビーさんが、自分のお子さんだけでなく、クラスみんなのことは見守ってくださっていることがお便りから伝わってきて、私はそのことがとても嬉しかったです。

「クラスの状態」は、毎日刻々と変化しています。

そして、その状態を測る“ものさし”も実は存在します。

以下の図を見て下さい。



これは、早稲田大学の調査をもとにして作られた図です。

全都道府県、20000学級を調査し、クラスはどのようにして成長し、チームとして成熟していくかという研究結果がまとめられました。

バラバラな状態に始まり、少しずつグループ等の小さな連携が生まれはじめ、次第に全員が同じ方向を向いて動き始めていく。

クラスには、このような成長過程があります。

究極はもちろん、第五段階の「自治的集団成立期」です。

チームの為、学校の為に、必要なことを先生があれこれ言うことなく自分たちで実行できる集団です。

しかし、全国20000学級の内、第五段階までたどり着いたクラスはたった「4%」だったという結果が、先の研究を通して明らかになりました。

残りの96%は、一年たっても1~4のいずれかの段階で終わってしまうということです。

そして、その極めてレアな成長を遂げた4%のクラスが1年間で順調にステップを踏んだ場合の経過が、先の時間軸となっているというわけです。

イメージで言うと、夏休みに入るまでに第三段階くらいに入っているならば、クラスの成熟具合としては順調に成長しているということです。

このデータに照らし合わせて、4-1の状態を俯瞰してみると驚くべきことが分かります。

クラスのみならず、すでに第五段階の自治的集団に入りつつあるからです。これは、歴代の渡辺学級の中でも最速です。

圧倒的な速さです。

それくらい、この2カ月での変化や成長が素晴らしかったということなのです。

ネイビーさんがお便りに書いてくださった、百人一首大会の真剣さも、涙の別れのシーンも、その多くは子どもたちが築いてきた4-1という素晴らしいチームの力が支えてくれていることは間違いありません。

全力で戦って悔し泣きができるクラスになりました。

互いの健闘を称え合える関係性が生まれました。

友の別れを涙で見送れるチームになりました。

これを読んでいるお家の方も、数々の「クラス」を経験してきたはずですから、こうしたことがどれだけ凄いことなのかをきっと分かってくれるのではないかと思います。

誰かの涙を誰かが冷やかすようなチームでは、こういう姿は絶対に生まれません。

頑張る誰かの足を引っ張り合うようなクラスでは、これだけの全力を出し切ることもできません。

そうした「クラスの状態の変化」を見取ってもらえることが、私は本当に嬉しいんです。

目の前で子どもたちがやっていることは、本当に凄いことです。

私も約 20 年間教師をしてきていますから、クラスが「自治的集団」にたどり着くことがどれほど難しいことかをよく知っています。

その難しさを軽々と飛び越えていく 4-1 の子たちの姿は、一つの奇跡だとすら思っています。

そうした奇跡を間近で見せてもらえることは、なんて幸せことなんだろうと改めて思います。

よく、教室ではこんな話を伝えています。

喜びは、その量が一定値を超えると「驚き」に変わり、さらに一定値を超えると「感動」になる。

すでに、4-1 の子たちはたくさんの「驚き」をプレゼントしてくれました。

それどころか、毎日のように「感動」を贈ってくれてもいます。

いったい、この後どこまでいくのだろうと、その可能性の大きさにワクワクする毎日です。

ネイビーさん、素敵なお便りをありがとうございました。

そうそう、先日音楽を担当されている金城先生から、合奏の映像が届きました。

現在練習している器楽合奏の様子です。

最初は全ての楽器がバラバラだったそうですが、現在はどんどん息が合っ

て上手になってきているとのこと。

ここにも、見えない「クラスのカ」が現れていることは確実です。
そうした変化や成長をイメージしながら見ていただくと幸いです。

<https://m.youtube.com/watch?v=WwFvie9L-cE&feature=youtu.be>



☆ ↓ 読者ページはこちらから ↓ ☆ ご意見ご感想など気軽にお寄せください

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcipcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

